

2018年度 県連統一クリーンハイク実施報告

千葉県連自然保護委員長 菅井 修 (ちば山の会)

- ・【実施日】 6月2日(土)
- ・【実施場所】 鴨川市・金山ダム周辺
- ・【参加会・人数者】 7会 29名
(・ちば山の会6名・千葉こまくさHC4名・ふわくHC7名
・松戸山の会5名・まつど山翠会1名・君津ケルン山の会3名
・まつど遠足クラブ1年さくら組2名)
- ・【回収ゴミ重量】

ダム右岸(元清澄方面)	7kg
左岸	120kg
計	127kg
- ・【報告】

9:30 寺の駐車場に集合 (寺管理者の好意で駐車場を借りる事が出来た)

9:30~11:30 クリーンハイク実施

金山ダムの両岸を分担して清掃を実施した。

こまくさHC・まつど山翠会5名で右岸・その他23名で左岸を実施した。

・【参加者の感想】

右岸コース：ダムに沿っての道は涼しく対岸に釣り人の姿を垣間見ながら登山道入り口までを実施した。特にゴミが多いという印象は無かったが、集中した場所に缶や瓶、弁当の空の入ったレジ袋が散乱している場所があった。中身が入った瓶やペットボトルが数個あった。

ゴミ袋6袋 約7kgのゴミを回収した。

左コース：入口付近のゴミは少なかったが、奥に入ると道路から少し下には大量の古い生活ゴミと思われる瓶や缶が散乱していた。このような場所が数カ所あった。中には車上から捨てた形跡の所もあり、それらを引き上げ道の脇に置き、鴨川市に回収を依頼した。釣り人やハイカーのマナーもあるが、同時に古タイヤ等の生活ゴミの不法投棄も大きな問題だと思った。回収ゴミの量は120kg。

